

2016 申年 今年の抱負

感謝の心で



熊谷 富次男
(粒一北)
昭和7年生まれ

七回目の申年を迎えました。よく頑張ってきたものだと思います。今までに大勢の人々と関わって来ましたが、今日あるのも、それ等の方々に対する限りない抱擁力によるものだと考え、感謝の外はございません。

平和な世の中に住まわせて頂いています。それだけに子供時代に体験したあの戦争のことを忘れることはありません。終戦のときは、十三歳になったばかりでしたが、昨年は、あれから七十年目の節目の年であつたわけです。

のお陰と考え、感謝しながら暮らさねばと考えます。

健康寿命という言葉があります。自分の健康状態には留意しながら毎日を送り、気張らず地域の和に溶け込んで、この年も仲良く暮らしたいものだと考えています。

猿年を迎えて



村澤 典子
(新井)
昭和19年生まれ

自分の七十年の月日をふり返って見て、下條村で生まれて村内に嫁いで五十余年農業をして子育てになんとか頑張ってきた。主人には六年前に十年ばかりの闘病生活の後先立たれました。今はこの新井の地区に一人で近所や友人の方々に助けていた。農業をして毎日を送っています。この年齢となり今年の夢とか希望とか多

新たな目標「夢」



飯嶋 延和
(明地原)
昭和31年生まれ

くを望むことはできませんが、ただ前を向いて一生懸命生きることかなと思っています。前に読んだ詩集の中に「人は置かれた所で咲きなさい」と言う言葉が書かれていたことをよく思い出しています。子供や孫の無事を願い、自分も今迄通り田や畑の作業に汗を流して元気でいれる事に感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。今の社会は不安の多い世の中ですが、この一年が皆様とともに健康な日々でありますように願っています。



当時を思う



熊谷 智子
(北又)
昭和43年生まれ

皆さま、よき新年をお迎えのことと思います。今回、年女とのことでの依頼を頂き、曖昧であった年齢を確かなものと感じております。

さて、最近では下條村の子育ての取り組みが全国放送でも取り上げられますが、思えば仕事に復帰するため十ヶ月になる息子を預けねばならず、当時前例のなかった一歳未満児を早く預かってくださった下條保育所並びに村の柔軟な対応に今でも感謝しております。その息子も高校生となり、子育ての忙しさは、子供の送り迎えが中心となつていきます。立地がら高校生になると住みにくい村となつてしまふのは仕方ないと思いつつ、土日にもバスがあればと思うこの頃です。

それでも、気持ちに余裕が出てきたいま、さらに仕事にも力を入れていきたいと思えます。下條村の皆様的一年が穏やかでありますようにお祈り申し上げます。

人との出会いを大切に



古田 裕之
(阿知原)
昭和55年生まれ

新年明けましておめでとうございます。

私の今年の抱負は人との出会いを大切にすることです。月日が経つのは早いもので、社会人十三年目となりました。私の仕事は多くの方々と出会う機会があります。人にはそれぞれの人生があり、多くの方の価値観・考え方を知ることが出来ました。失敗をして落ち込むこともありましたが、多くの方々に助けられ、仕事だけでなく人生に大切なアドバイスをいただきました。がむしやらに頑張ってきて、今年・来年とキャリアアップ出来る大きなチャンスが巡ってきました。これも、まわりの方々のお力によるものと深く感謝しております。今後も様々な方との出会いを大切に、人生経験を豊かにしていきたいと思っております。皆様にとつて、今年も良い年でありますように。

今、思うこと



木下 美佳
(北平)
平成4年生まれ

今年で介護福祉士五年目となります。特別養護老人ホームに勤め、気づけばベテランと言われるようになりました。日々の業務に追われ、息つく間もないほどですが、立ち止まって振り返ってみると入居者さんとの多くの出会いと別れを経験してきたことを改めて実感します。特養は入居されたお年寄りにとつて終の住処「ついのすみか」となります。入居者さんとの出会い、その方を知り、自宅と同じと行かなくとも、今までの暮らしを継続していきけるよう支援させていただいていきます。いくつもの看取りを経験し、寂しさも感じますが、最後まで支援できた仕事へのやりがいや人との関わり大切さを改めて感じます。

現場では難しいことも多々ありますが、一つ一つの関わりを大切に、仕事・人と向き合い自分自身の成長にもつなげていきたいと思えます。

三つの決意



久保田 莉生
(山一東)
平成16年生まれ

もうすぐ六年生。小学校生活も最後の年になります。次の三つのことをがんばろうと思っています。

一つ目は、野球です。優勝できるように、一つ一つの試合をがんばりたいです。声を出し、人一倍元気よくやりたいです。

二つ目は勉強です。六年生になり、中学生になっていきます。六年生の勉強は中学へつながらるから、先生の話をよく聞き、中学校へ行つて六年生の復習があつたら、そこで簡単に答えられるように、しっかりと勉強しておきたいです。

三つ目は、家庭のことです。今年ばかりは、家でほとんど手伝いをしています。家の中にはほかにできることがたくさんあります。少しずつ自分から進んでできるよう、がんばっていきたくいです。そして、弟や妹のめんどうもしっかりみていきたいです。